

# おはこざき通信

第11号 平成29年2月20日発行  
【発行】  
NPO法人釜石東部漁協管内復興市民会議  
(通称:NPOおはこざき市民会議)  
〒026-0303 釜石市箱崎町10-9  
釜石東部漁業協同組合内

## 【NPOおはこざき市民会議とは】

震災後、釜石東部漁協管内の8地区(両石・根浜・箱崎・片岸・白浜・室浜・桑の浜・仮宿)の有志が連携して「100年先を見据えた安心安全な復興まちづくり」「持続可能な地域のまちづくり」を目的として設立されたNPO法人です。

## 漁業体験ツアーで海の魅力を満喫しませんか！

NPOおはこざき市民会議は、毎月、漁業体験ツアーを行って、釜石の海の魅力を発信しています。

私たちの釜石は、三陸復興国立公園・三陸ジオパークの中央部に位置し、海の豊かな自然と共生した文化や歴史に恵まれています。

3月12日(日)開催の「ワカメの収穫と塩蔵体験ツアー」は、参加者がベテラン漁師に教えてもらいながら、実際に、海でワカメ刈り取り、収穫したワカメを長期保存するための塩蔵作業します。自然とともに生きる漁業の体験を直に味わえる貴重な機会になります。

また、このツアーでは、ワカメ1kgのお土産付き。お昼に用意されているホタテや魚介類の浜焼きは最高です。

参加された方にとって、釜石の海の魅力を満喫できる想い出の漁業体験になること間違いなし。是非、お友だちやご家族をお誘いになって、ご参加ください！もちろんお一人でも大歓迎です。

スタッフ一同、心よりお待ちしています。



【船に乗り、ワカメを刈り取ります】



【ワカメ刈り取りの様子】



【塩蔵作業の様子】

### ワカメの収穫と塩蔵体験ツアー

日 時 平成29年3月12日(日)

体験内容 立派に成長したワカメを収穫し、湯通しをして、塩をまぶす塩蔵作業を行います。  
塩蔵作業を行うことで、美味しさを保ったまま、長期的な保存が可能になります。

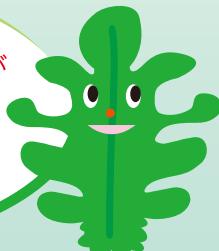
場 所 箱崎漁港(釜石市箱崎町)

料 金 一人3,500円

人 数 30名(最小催行人数4名)

申し込み期限 平成29年3月9日(木)

この漁業体験ツアーは、  
釜石シティプロモーション推進委員会が  
3月18日～20日に開催する  
meet up Kamaishi 2017 の  
先駆けとして参加しています！



※ お土産として、塩蔵ワカメ1kgをプレゼントします。

※ 悪天候で海に出れない場合は、ワカメの芯抜き体験に変更になります。

※ お昼時間を挟みますので、各自昼食をご持参ください。ホタテの浜焼きを味わってください！

※ ワカメの収穫と塩蔵体験ツアーの様子は、漁業の学舎ホームページ(<http://ohakozaki.com/uminogakko.html>)に掲載されている「漁業体験ツアー「ワカメの収穫と塩蔵体験」の一日を紹介します！」をご覧ください。

# 箱崎半島部の復興関連工事の見学会を実施しました!



【根浜側から恋の岬方面を見る】



【水門工事】



【片岸防潮堤工事】



【貫通した室浜トンネル】

NPOおはこざき市民会議は、岩手県沿岸広域振興局と釜石市建設部ならびに復興推進本部の全面的なご協力をいただきて、1月28日(土)に復興関連工事状況の見学会を実施しました。

復興関連工事の見学会は、これまで箱崎半島線を対象に2回実施しましたが、今回の対象工事は、①箱崎半島線道路新設工事、②鵜住居川水門工事、③片岸海岸防潮堤工事、④県道吉里吉里釜石線室浜トンネル工事の4箇所にしました。いずれも箱崎半島部に住む人や関係者にとって安心安全な生活に重要な土木工事です。

恋の岬から箱崎町を津波に侵されることなく結ぶ箱崎半島線道路は、災害時に半島部の孤立化を防ぐ「命の道」です。工事の状況は、用地確保が80%、工事の進捗は70%進んでいます。根浜と恋の岬間の切通しは開削されており、舗装工事はまだですが、車の通行は可能となりましたので、万一の災害に対応できます。これから根浜と箱崎の間で切土や盛土工事が行われます。工事完成は、平成30年3月です。

鵜住居川水門(延長235m・5水門)は、片岸海岸防潮堤と一体になって、鵜住居地区を津波災害から守る重要な工事です。これが完成しない限り、地区的安全は確保できません。また、工事は、現在、根浜側の2門を建設中です。これができたら次は、片岸側の3門に着手します。完成は、平成31年3月になります。

片岸海岸防潮堤は、水門から県道吉里吉里釜石線までの延長818.3m、高さ14.5m、基盤幅70mの長大な土木工事です。工事は、地盤が砂地であるところから難しい課題があったようですが、地盤の液状化や圧密沈下の対策として地盤改良を行い、現在は、4段階で進める盛土とコンクリート被覆工事の2段階をクリアしたところです。水門と防潮堤が完成すれば、鵜住居・片岸地区の鉄壁の守りになるだけでなく、釜石の観光名所になるでしょう。完成は、水門工事と同じく平成31年3月になります。

県道吉里吉里釜石線工事は、室浜地区の方が津波等の災害で孤立しないように高く海から離れたところに新設している道路工事ですが、象徴的な工事は、延長231mの室浜トンネルですが、トンネルは既に完成し、現在は、国道や従来の県道を結ぶ工事が進められています。

NPOおはこざき市民会議は、今後も復興関連工事の見学会を行います。見学を希望される方は、この機会にご参加ください。

お問い合わせ先: 090-1561-1166(下川)

## NPOおはこざき市民会議はスタッフを募集しています!

釜石の海が大好きな方、漁業に関心のある方、復興支援をしたい方、NPOに興味のある方、NPOおはこざき市民会議は、そんな方をスタッフとしてお迎えしています。年齢、性別問いません。積極的な方なら大歓迎です。お仕事は、NPOの運営や事業活動のサポートです。フルタイム、パートタイム構いません。給与、保険、採用方法などのお問い合わせは、090-1561-1166(下川)まで。